



岸和田城音楽祭

秋の祭典

Kishiwada Castle Music Festival

2011



登録有形文化財
岸和田市立自泉会館

“クリストフ・ジョヴァニネッティ”

& 青柳いづみこ

デュオ・リサイタル

*** Program & Profile ***

9月22日(木) 岸和田市立自泉会館 開演18:30(開場18:00)

入場料: 一般3,000円(学生2,000円)

～フランスの薫風～

演奏とお話



<曲目>

タイユフェール: ソナチネ

フォーレ: ヴァイオリン・ソナタ第1番

*** 休憩 ***

ドビュッシー: 月の光、沈める寺 (ピアノ・ソロ)
ヴァイオリン・ソナタ

ラヴェル: ハバネラ (「スペイン狂詩曲」より)
ツィガーヌ



青柳 いづみこ

Izumiko Aoyagi

[PIANO]

安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業。1989年、論文『ドビュッシーと世紀末の美学』により東京芸術大学より学術博士号。90年、平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と執筆を両立させる希有な存在として注目を集めており、8枚のCDが『レコード芸術』誌で特選盤となるほか、師安川加壽子の評伝『翼のはえた指』(白水Uブックス)で第9回吉田秀和賞、祖父の評伝『青柳瑞穂の生涯』(平凡社ライブラリー)で第49回日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトベルク』で第25回講談社エッセイ賞を受賞。2008年、ドビュッシー没後90周年記念として全4回の『ドビュッシー・シリーズふたたび』開催。『ドビュッシー 想念のエクトプラズム』(中公文庫)刊行。CDアルバム『ドビュッシーの時間』(カメラータ)は日本レコードアカデミー賞にノミネートされる。2009年、エドガー・ポー生誕200年を記念して『音楽になったエドガー・ポー』を東京とパリで開催、好評を博す。2010年には初の小説『水のまなざし』刊行。同年リリースのアルバム『ロマンティック・ドビュッシー』が第23回ミュージック・ベンクラブ賞を受賞。2011年、筑摩書房より『グレン・グールドー 未来のピアニスト』が刊行予定。JMLセミナー入野義朗音楽研究所にて「フランス音楽の解釈と演奏法」開講。大阪音楽大学教授、青山学院大学仏文科講師。日本シヨパン協会理事。オフィシャルHP: <http://ondine-i.net>

クリストフ・ジョヴァニネッティ

Christophe Giovaninetti

[VIOLON]

指揮者レイナルド・ジョヴァニネッティの次男としてマルセイユに生まれる。パリ音楽院、ブカレスト音楽院に学び、さらにアマテウス・クワルテットのもとで研鑽を積む。1984年にイザイ・クワルテットを結成し、みづから第1ヴァイオリンをつとめ、エヴィアン国際コンクールに優勝するなど輝かしい成功をおさめる。1995年には、新しい挑戦としてフランス人とロシア人によるエリゼ・クワルテットを創設した。これら2つのクワルテットにより、デッカ、ハルモニア・ムンディ、フィリップス、ジグザグ・テリトワール、ナクソス等のレーベルで数多くの録音をおこない、いずれも高い評価を得ている。また、カーネギーホール、ムジークフェライン、モーツアルテウム、ウイグモアホール、クイーンエリザベスホール、コンセルト・ヘボウ、パリのシャンゼリゼ劇場など世界の舞台上に登場し、絶賛を博した。室内楽奏者としての活動も多く、オーギュスタン・デュメイ、シュロモ・ミンツ、マリア・ジョアオ・ピレジュ、ジャン＝フィリップ・コラール、フランク・ブラレイ、ミシェル・ポルタルなど著名な音楽家たちと共演している。こうした活動のほかに、パリ国立高等音楽院教授として後進の指導にもあたっている。かつてメニューーインは、クリストフ・ジョヴァニネッティの演奏を聴き、「私は、この天使の如き音楽家のおかげで、人生における最もピュアな音楽的感銘を受けた」と述べている。



会場: 岸和田市立自泉会館ホール(120席全自由席)

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10

主催: 岸和田城音楽祭実行委員会

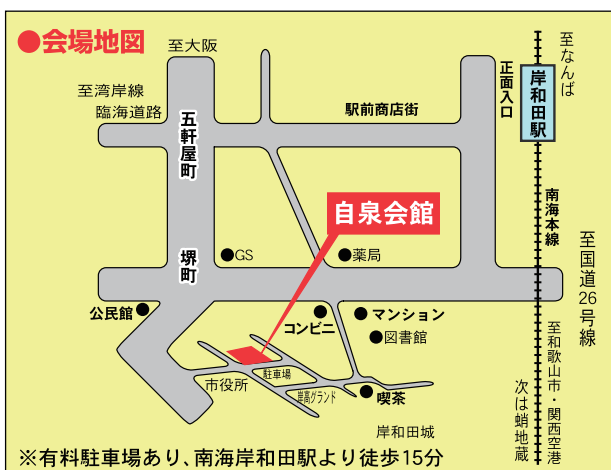
特別協賛: (株)池田泉州銀行

後援: 岸和田市、岸和田市教育委員会、
岸和田文化事業協会、岸和田商工会議所

●チケット: 2011年8月22日(月)より前売券発売
自泉会館 TEL 072-437-3801

岸和田商工会議所・西岡 TEL 072-439-5023

●コンサート内容のお問合せ: 岸和田城音楽祭実行委員会事務局
藪吉倉庫(株) 上田 TEL 072-423-0921



※有料駐車場あり、南海岸和田駅より徒歩15分